

まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付申請書

2025年 4月 8 日

NPO 法人
恵庭市市民活動センター運営協議会
理事長 様

団体名 えこにわ
代表者名 勝又 みさ都
住所
電話

恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金の交付を受けたいので、恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業補助金交付要綱に基づき交付された補助金の交付に関する事務手続き要領第4条の規定により関係書類を添えて次のとおり申請します。

協働事業の名称	‘えにわブルーサンタごみ拾い’を通じたゼロカーボンアクションの普及啓発		
協働事業費の 総額	10万9千円	補助金交付 申請額	10万円
事業実施団体数	①単独・複数（団体数）	本事業での 提案回数	2 回目
協働する担当課	生活環境部ゼロカーボン推進室 廃棄物管理課 担当者：茂古沼氏（内線 1145） 脱炭素推進課 担当者：安藤氏（内線 1142）		
提案事業の内容	実施期間 2025年4月1日から2026年2月末日まで 子ども達にきれいな海をプレゼントする「えにわブルーサンタごみ拾い(※)」、ワークショップの実施、公共施設での展示、ホームページ・メールマガジン等による情報の受発信を通じた、ゼロカーボンアクションの普及啓発を行います。 猛暑・暖冬などの気候変動や、ごみ問題が生活に及ぼす影響を、恵庭市でも目の当たりにします。ごみ拾いをきっかけに、市民一人一人が「知る」ことから始め、「自分にできることを始めよう」と小さな行動の変化を促し、広めていきます。市民の力で恵庭市がゼロカーボンシティの実現に向かう契機とします。 ※海と日本 PROJECT（日本財団他）のポータルサイト‘BLUESHIP’に登録 〈年間スケジュール〉 1. まちチャレンジ対象事業 ① えにわブルーサンタごみ拾い×背守り刺しゅうワークショップ 日時：4月27日（日）9:30 - 11:30 会場：黄金ふれあいセンター 参加費：300円 ・生活クラブ恵庭支部サークル「ごみひろE」と合同開催 ・脱炭素推進課「えにわゼロちゃれ！」のお知らせ ② 夏休み親子ワークショップ 日時：8月（未定） 会場：えにあず（未定） 参加費：300円（未定） ・海で拾ったプラスチックごみを利用したチャーム作り ・廃棄物管理課「リアル版！ごみ減量化ゲーム」		



③ 図書館展示

日時：9月（えにわ環境・エネルギー展の開催時期）

会場：恵庭市立図書館本館

- ・図書館にてゼロカーボンアクションや環境問題、協働事業についての展示

④ ホームページ、メールマガジン、SNS による啓発

期間：2025年4月1日～2026年2月末日

- ・イベント参加者、ホームページ・SNSの閲覧者にメルマガ登録を促し、継続的にゼロカーボンについて情報提供とメール受発信による啓発を行う

2. まちチャレ対象外の事業

- 5月14日（水）Hokkaido 海のクリーンアップ大作戦
苫小牧海岸会場に一般参加
- 5月30日（木）ごみゼロの日クリーンウォーキング
恵庭市役所会場に一般参加
- 7月6日（日）茂漁川 de お宝発見！えにわブルーサタごみ拾い
北海道 e-水プロジェクト（交付決定） 会場：かしのもり
・ごみ拾いしながら茂漁川の生き物に触れ、水辺の生態を学ぼう
- 10～11月 海洋研究開発機構研究員 中嶋亮太氏による海洋プラスチックに関するお話し会＆海の生き物ぬりえワークショップ
子どもゆめ基金（申請予定）
- 10月 がん啓発イベント虹いろ ピンクリボン合同ごみ拾い
- 1～2月 ヘチマたわし作りワークショップ

〈工夫・改善点〉

- 市の行事や他団体と連携することで、関心のない人も目に触れ、参加する機会を生み出す。楽しく学べるしかけ（クイズ、ごみ拾い体操など）を取り入れる。
- 市や教育委員会に後援名義を申請する。賛助会員の仕組みを作る。ワークショップは有料とし、安定財源の確保に努める。
- チラシ配布を止め、ポスターなど多数の人が触れる方法に限定することで、紙資源を守りごみを減らす。
- 恵庭市が伝えたい環境問題、ごみ問題のポイントを、ポスターや団体メディア、コミュニティFM等で啓発する。
- 「えにわか」アプリの登録、ごみ拾い活動や「えにわゼロちゃれ！」活用による「えにボ」取得を、市民に促す。

〈目標値〉

- ごみ拾い、ワークショップ参加者：各回 15～30人
- ホームページ ユーザー数：1,000名（前年度 614名）
- メールマガジン 登録者数：50名（前年度 23名）

提案事業の目的 及び期待される 効果	2024 年は世界全体の気温が観測史上最も高い年と言われ、恵庭市でも学校にエアコンが納入され、冬にはスキー場の開設延期やスケート授業が中止になるほどの暖冬を経験しました。また、人体からナノプラスチックが検出された報道をはじめ、気候変動やごみ問題の影響を肌身で感じています。 多くの市民が生活への影響を実感しながらも「何から始めたらいいの?」「忙しいから仕方がない」と日々に追われ、無関心になってしまいます。 ごみ拾いをきっかけに、まず知ること、楽しく学ぶ機会を生み出し、一人一人の意識を高め、自主的に課題解決に向かう市民の輪を広げていきます。
--------------------------	--

提案事業の 役割分担	申請団体が担う役割 ・事業の企画、周知、準備、運営 ・他団体との調整 ・公式アプリ「えにわか」えにボ付与による市民への動機付け ・図書館展示の調整、題材提供
	担当課が担う役割 ・恵庭市ホームページ、広報、公式 LINE 等を活用した市民への周知 ・「えにわけロちゃれ!」の周知（脱炭素推進課） ・「リアル版!ごみ減量化ゲーム」の実施（廃棄物管理課） ・図書館展示の調整、題材提供（脱炭素推進課・廃棄物管理課）
	連携団体が担う役割 ・周知活動を連携して行う
添付書類	(1) 団体概要調書（様式第2号） (2) まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書（様式第3号） (3) 規約、会則又は定款及び役員名簿等の写し (4) 提案回数が4回目以上の場合は、団体の前年度事業報告、前年度の決算書、本年度の予算書

団体概要調書

団 体 名	(ふりがな) えこにわ えこにわ			
代表者氏名	(ふりがな) かつまた みさと 勝又 みさ都			
事務所の所在地				
	電 話		FAX	なし
連絡先	※連絡責任者の氏名⇒この申請内容について対応できる方			
	氏 名	(ふりがな) あずま えみ 東 絵美	電 話	
			FAX	なし
設立年月日	2020 年 9 月 4 日		会員数	5 名
メールアドレス				
団体ホームページ	【ホームページ】 https://eco-niwa.com/ (ユーザー数 614、記事数 54) 【Instagram】 https://www.instagram.com/eco_niwa/ (フォロワー数 179) 【Facebook】 https://www.facebook.com/econywa2024/ 【X】 https://x.com/econywa2024 【メールマガジン】 えこにわ通信 (登録 23 人、配信 47 通)			
団体の目的	「えこ」と「えにわ」がくっいたら芽が出た！みんなの力で地球、生き物、人に優しい社会を作りたいと活動している恵庭市の市民団体です。気候変動やごみ問題がおよぼす影響を「仕方がない」とあきらめず一人一人の小さな行動の変化を促し、自主的に行動できる人の輪を広げていくことを目指しています			
主な活動内容及び実績	●活動実績 (2020 - 2024 年) ・ごみ拾い 30 回 (参加者 314 名) ・講演会 2 回 (参加者 133 名) ・ワークショップ 2 回 (参加者 44 名) ・施設見学会 2 回 (参加者 34 名) ・物の譲り合い (月 1 回開催) ・環境エネルギー展トークセッション ●助成金・奨励金他 ・令和 6 年度 恵庭市まちづくりチャレンジ協働事業 ・令和 6 年度 ツルハ医療・介護サービス協会奨励金 ・令和 7 年 2 月 恵庭市社会教育関係団体に登録 ●嘱託委員 ・令和 6～7 年度 恵庭市環境審議会委員 (勝又) ・令和 6～7 年度 恵庭市廃棄物減量等推進審議会委員 (東・川原) ・令和 6～7 年度 恵庭市社会教育委員 (根深) ・令和 7～8 年度 北海道地球温暖化防止活動推進員 (勝又)			
市や国・道、他の団体から受けている補助金等	・有 [補助金等の名称：北海道 e-水プロジェクト (交付決定)] [金額 : 10 万円] ・無			

※複数の団体で事業を実施する場合は、団体ごとに記入してください。

まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支予算書

団 体 名	えこにわ
協働事業の名称	‘えにわブルーサンタごみ拾い’を通じたゼロカーボンアクションの普及啓発

1. 収 入 (単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
補助金	100,000	まちづくりチャレンジ協働事業補助金
参加費	9,000	4/27：300円×10名 8月：300円×20名
合 計	109,000	

2. 支 出 (単位：円)

項 目	金 額	説 明 (積算等)
講師謝金	19,000	4月 背守り刺しゅうワークショップ：9,000円 8月 海洋プラスチックでチャーム作り：10,000円
通信費	13,568	ホームページのサーバー管理料（年間13,200円）、 ドメイン使用料（年間1,602円）の月割11ヶ月分
通信費	18,000	メールマガジン配信システム： 年間契約料36,000円の1/2（個人利用との按分） ・登録日から指定日にステップメールの配信 ・メールの到達率を上げる送信ドメイン認証 ・クレジットカード決済連携
印刷製本費	15,000	ポスターデザイン・印刷（4月、8月）
撮影・動画編集	12,000	文教大学写真部に依頼（4月、8月）
材料費	14,432	ワークショップ（4月、8月）、図書館展示（9月）
借用・損料	5,000	会場費、マイク、スクリーン等（4月、8月）
保険料	3,000	ボランティア行事用保険（4月、8月）
託児料（対象外）	4,000	文教大学学生に、同室見守り託児を依頼 （8月 2名×2.5時間）
人件費（対象外）	5,000	スタッフ経費（4月、8月）
合 計	109,000	

備考）補助金の交付対象となる事業に要する経費を記入してください。なお、実績報告書の提出時に「まちづくりチャレンジ協働事業補助金収支決算書（様式第14号）」とともに領収証の写しを添付する必要があります。